

屋久島町 橋梁長寿命化修繕計画

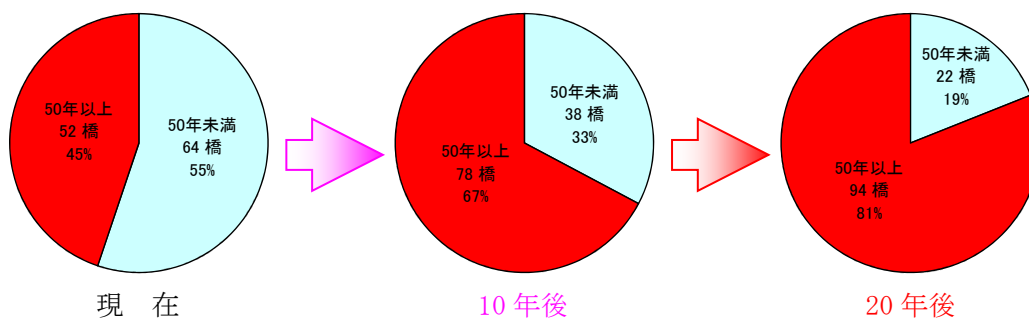
平成26年 3月
(平成31年 1月更新)

屋久島町役場建設課

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 背景

本町が管理する橋梁は、現在116橋あり、このうち、建設後50年を経過する高齢化橋梁は、52橋で全体の45%を占めます。今後、20年後には、この割合が81%を占め、加速的に高齢化橋梁が増大します。このような背景から、今後、高齢化が進む橋梁に対して、従来の対症療法的な修繕および架替えの継続では、維持管理コストが膨大となり、多大な財政負担となることが予想されます。



2) 目的

本町が管理する道路橋の高齢化に対応するため、従来の対症療法的な修繕および架替えから予防的な修繕および長寿命化修繕計画に基づく架替えへと円滑な政策転換を図ります。橋梁の修繕・架替えに係わる費用の縮減を図りつつ、本町の道路網の安全性・信頼性を確保することを目的とします。

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	一級町道	二級町道	その他町道	合計
全管理橋梁数	10 橋	21 橋	85 橋	116 橋
うち計画の対象橋梁	10 橋	21 橋	85 橋	116 橋
うちこれまでの計画策定橋梁数	0 橋	0 橋	0 橋	0 橋
うち H25 年度計画策定橋梁数	10 橋	21 橋	85 橋	116 橋

○長寿命化修繕計画対象の橋梁：全管理橋梁

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的な方針

健全度の把握については、定期点検要領（H26年6月 国土交通省道路局 国道・防災課）に基づいて5年に1度、近接目視による定期点検を実施し、結果については4段階で区分することとしています。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁を良好な状態に保つため、日常的な維持管理として、通常点検（道路パトロール）を実施するとともに、清掃や土砂詰まりの除去等比較的に対応が容易なものについては、日常の維持作業により措置します。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係わる費用の縮減に関する基本的な方針

健全度の把握および日常的な維持管理に関する基本的な方針とともに、予防的な修繕等の実施を徹底することにより、修繕・架替えに係わる事業費を縮減させ、ライフサイクルコストの縮減を図ります。なお、点検間隔が明らかになるよう計画期間は10年とします。

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は修繕費用

5年に1回の定期点検結果を踏まえ、毎年度、計画を更新します。

(様式1-2による)

6. 対策の優先順位の考え方

点検結果に基づき、効率的な維持及び修繕がはかれるよう必要な対策を講じます。

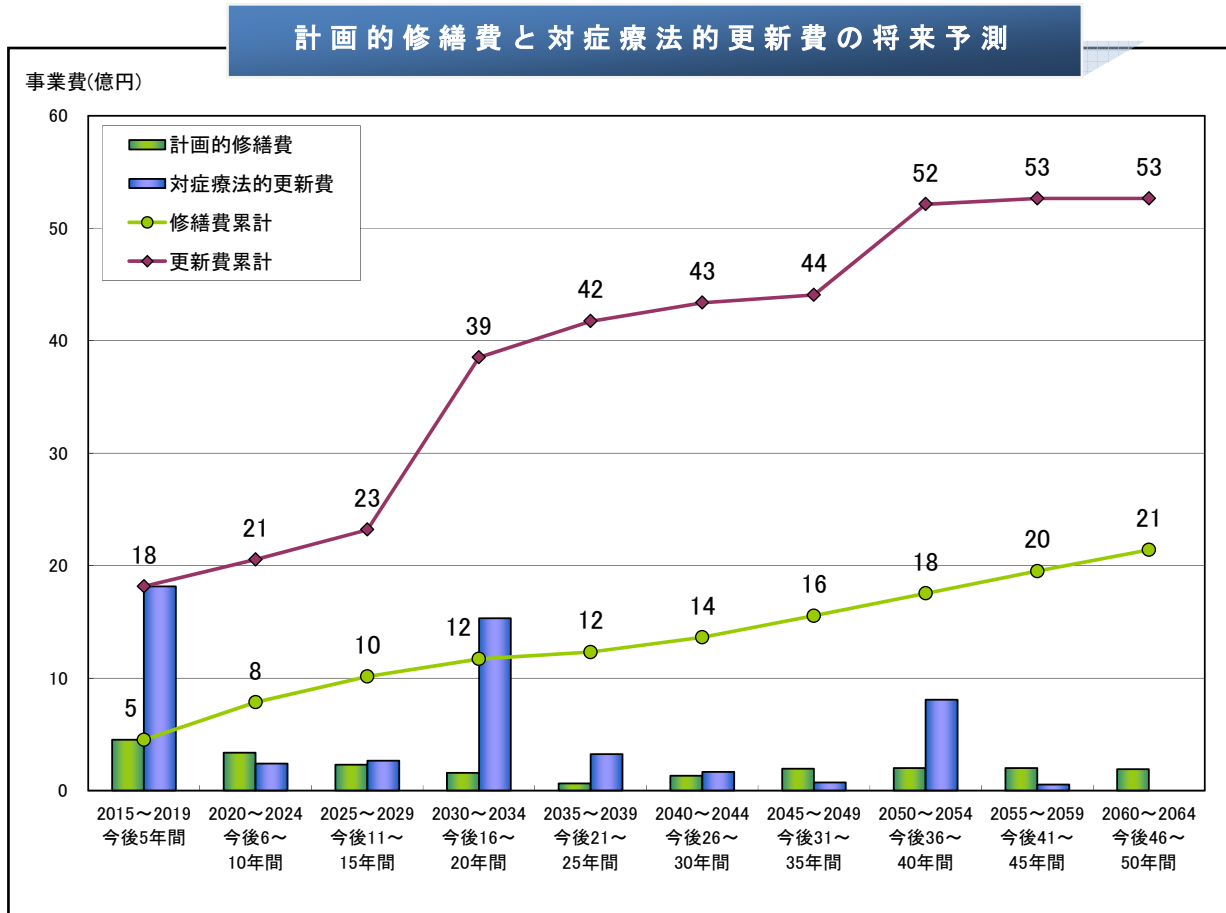
優先順位の考え方

- (1) 橋梁の対策は、第三者に対する安全性に著しく影響を及ぼし、緊急的に対応が必要な損傷がある橋梁を優先的に実施します。
- (2) 速やかに補修を行う必要がある区分「Ⅲ」と判定した橋梁については、橋梁の利用状況（通行頻度・バス路線・迂回路が無い路線）や損傷箇所数や損傷程度を考慮し、優先的に対策を実施します。
- (3) 予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である区分「Ⅱ」と判断した橋梁については、地域性・重要性等を考慮し、優先的に対策を講じます。

7. 長寿命化修繕計画による効果

長寿命化修繕計画に基づいた計画的な修繕を実施する場合と対症的に更新する場合とを比較した結果、50年間で約32億円のコスト削減が見込めます。更に、対症的更新による事業実施では著しく突出した事業費が必要となる時期がありますが、計画的修繕による事業実施ではその発生を回避することができます。

- 1) 対症的更新の事業費 50年間総費用 約53億円
- 2) 計画的な修繕による事業費 50年間総費用 約21億円
- 3) コスト削減効果 $53 - 21 =$ 約32億円 (約0.6億円/年)



※対症的に更新する場合：

修繕を実施せずに架設年次から50年経過した際に、更新（架替え）を実施する

